

翼PTA通信

第 55 号

発行
一宮起工科高校
昼間定時制PTA

子どもたちの翼が

大きく広がるように

PTA会長 西脇有里

この度、令和8年度PTA会長を務めさせていただくことになりました、西脇です。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様方には、日頃よりPTA活動へのご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。

子どもたちの生活を取り巻く環境、世界情勢は日々変化していますが、中でもここ最近、私たちの生活を脅かしているものと言えば中東問題、石油・ナフサ問題ではないでしょうか。ナフサは今まで当たり前に入っていたものですから、初めてその重要さ、なくてはならないものということに気付き、手に入らなければ生活や仕事すら成り立たないことに危機感を感じている方も少なくないでしょう。車を運転するときや、物資の運搬をするときに必要なガソリンだけでなく、私たちが口にする飲料のペットボトル・食べ物包装するパッケージ・車の製造過程で使われるゴム・スポンジ加工製品なども石油が必要です。当たり前に入っていたものが入らなくなるということは、物価も上がり、また、物を製造・販売していく仕事そのものや、現場で働く人の雇用にも大きく影響が生じます。

翼キャンパスで学ぶ子どもたちは、この先、卒業後の進路として就職・進学を選択しなければいけないという試練が待ち構えています。今の世界情勢が大きく好転しない場合、希望の業種・職種があってもそれを選択できないのではないかと不安が出てくるのではないのでしょうか。そういったとき、子どもたちの可能性や未来をできるだけ妨げることがないように、私たち大人が、心身ともにしっかりとサポートしてあげることが大切なのではないかと感じています。進路を考えるときに、子どもたちが、より多くの選択肢を得られるようになれば、と願っています。そして、学校の授業や友達と過ごす学校生活の中で、幅広い知識・教養を身に付けられるように学んでほしいと思います。

10代というのは、悩み、苦しむことも多いですが、キラキラと輝き、多くのことに素直に感動し、柔軟に吸収できる時期でもあります。私たちは、子どもが悩み、苦しむことがあれば、子どもに寄り添い、意見を尊重し、理解し合える関係性を築いていきたいと思っています。そして、先生方の指導や楽しい学校生活を通して、より多くの選択を知り、自ら考える力を養っていけると嬉しいものです。

この一年間、先生方や保護者の皆様方のお力を借りながら、微力ながらサポートしていきたいと考えております。

これからも、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いします。

将来の夢に向かって取り組むこと

校長 南部次郎

「翼キャンパス」で学ぶ生徒の皆さんは、一人ひとり異なる歩みの上に成り立っています。自分のペースで新たな一歩を踏み出そうとしている人が多くと思いますが、その背景は人によって様々です。しかし、今までのような道のりであったとしても、「翼キャンパス」で学びを継続することを選び、前を向いて努力していること自体が、たいへん尊いことだと私は思います。さて、人生を歩むうえで大切なことの一つは、「将来の夢に向かって取り組むこと」です。ここでいう夢とは、必ずしも大きく華やかなものである必要はなく、例えば「資格を取って仕事に生かしたい」「人の役に立つ仕事に就きたい」「家族を安心させたい」「自分に自信を持てるようになりたい」など、そのどれもが、かけがえのない立派な夢になります。夢を持つことは、自分の未来に光を灯し、その光は、迷った時や苦しい時に、自分の進むべき方向を照らしてくれます。もちろん、夢に向かう道のりは平坦ではありません。思うようにいかない日もあるでしょう。努力しても結果がすぐに表れず、不安になったり、自分には無理かもしれないと感じたりすることもあるかもしれません。しかし、夢の実現のためには、遠くにあるゴールへ一足飛びにたどり着くことではなく、今日できることを一つずつ積み重ねていくことです。毎日の授業にしっかりと向き合うこと、提出物を期限までに仕上げること、あいさつを大切にすること、人の話を真剣に聞くこと、失敗してもあきらめずにやり直すことなど、そうした小さな積み重ねが、やがて大きな力となって自分を支えてくれます。「翼キャンパス」で学ぶ皆さんには、すでに多くの経験があります。順調なことばかりではなかったからこそ、人の痛みが分かり、努力の重みを知り、粘り強さを身に付けている人も多いはず。その経験は決してマイナスではなく、これからの人生を豊かにする大切な財産です。保護者の皆様におかれましては、お子様がそれぞれの夢に向かって歩んでいく過程には、励ましと見守りの力が何よりの支えとなります。すぐに結果が見えないときもありますが、日々の小さな成長に目を向け、ともに喜び、ともに支えていただければと思います。

本校は、引き続き生徒一人ひとりの可能性を信じ、夢の実現に向けた歩みを全力で支えてまいります。夢は、持つだけでは実現しません。夢に近づくために、今の自分にできることを続けることが大切です。焦らず、比べず、自分の歩幅で進んでください。その先には、きっと自分らしい未来が待っています。

課外学習の思い出

第1学年 尾崎柚香

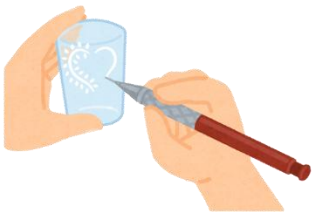
5月22日金曜日に、課外学習で滋賀県へ行きました。

朝早くに学校を出発し、バスで向かいました。行きのバスでは、友達と話したり外の景色を見たりして過ごし、普段の学校生活とは違う雰囲気にくわくしていました。

最初に訪れたのは、長浜城です。到着した時は曇っていましたが、途中から晴れてきて気分も明るくなりました。実際に見る長浜城は迫力があり、歴史を感じる建物でした。教科書で見るだけでなく、その場に訪れることで、その場ならではの魅力を感じることができたと思います。

その後に訪れた黒壁クスエアでは、昔ながらの町並みが広がっていて、とても印象に残りました。ガラス細工のお店には美しい作品がたくさん並んでいて、歩いているだけでも楽しむことができました。特に心に残っているのは、サンドブラスト体験です。きめ細かな作業だったので最初は難しく感じましたが、少しずつ模様ができていくのを見るうちに夢中になっていました。完成した作品が届くのが待ち遠しく、自分だけの思い出の品をつくることに達成感も覚え、嬉しかったです。

今回の課外学習では、歴史や文化に実際に触れることで、多くの学びを得ることができました。また、友達と協力しながら行動したり、同じ時間を共有したりする中で、普段の学校生活では感じられない楽しさや大切さにも気付くことができました。この課外学習で経験したことや感じたことを忘れず、これからの学校生活にも生かしていきたいと思います。



課外学習の思い出

第2学年 滝藤壮太

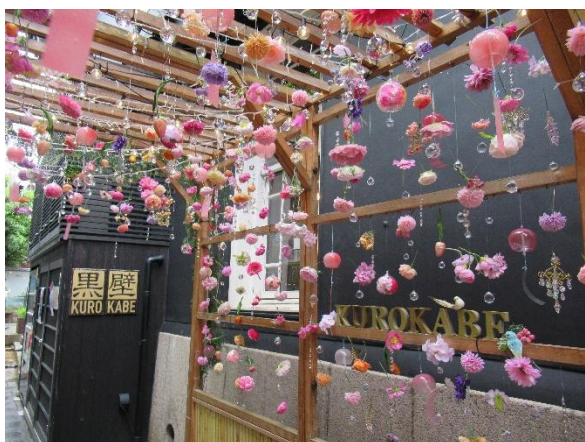
僕は、5月22日に滋賀県長浜市に課外学習に行きました。バスから降りて、長浜城の前で集合写真を撮るときには、パラパラと雨が降っていたので残念に思っていたのですが、写真を撮り終えて散策を始める頃には、雨が止んでいて嬉しかったです。

友達と黒壁スクエアの美しい景色を見たり、写真を撮ったりして歩いているだけで楽しかったです。「そろそろどこかのお店に行こうか」となり、わらびもち専門店の『甘味処 鎌倉』で、期間限定の「わらびもちドリンク チョコミント味」という商品を注文しました。わらびもちの、もっちり・つるんとした食感に、チョコチップのざくざくとミントの爽快感が重なって、一杯でとても満足できるおいしいドリンクでした。次に、「海洋堂フィギュアミュージアム黒壁 龍遊館」に行きました。たくさんの漫画やアニメのフィギュアやグッズなどがありました。家族にお土産として、ひこにゃんプチシュー「彦根にゃんとプチ」と、滋賀県の名物がプリントされたクッキーを買いました。プチシューはカスタードとチョコの2種類の味があり、どちらもおいしかったし、クッキーのデザインもかわかったです。家族がとても喜んでくれたので、買って帰ってよかったと思います。

お昼ご飯には、「蘭亭」というお店でオムライスを食べました。卵がふわふわでとてもおいしかったです。

最後には、ガラスのサンドブラスト体験をしました。絵をビニールテープに描き、それをデザインナイフで切り取ってグラスコップに貼る作業をすることで、貼っていないところがすりガラス状になるものでした。僕は、イルカやウサギの絵を描きました。単純な作業だと思っていたけれど、実際にやってみると難しく、細かなことができる職人さんはすごいと思いました。初めての体験で、とてもいい思い出になりました。

課外学習を通して、色々な学びを得ながら体験することができて嬉しいです。また行きたいです。



修学旅行の思い出

第3学年 浅井心陽

私は、修学旅行でたくさんの思い出をつくることができました。1日目の南京町では、私は海老団子やいちご飴を食べました。その他にも、建物の写真を撮ったり、普段あまり一緒に写真をとる機会のなかった班の子たちとたくさん写真を撮ったりすることができて楽しかったです。人と防災未来センターでは、阪神淡路大震災に関する映像を見て、地震の恐ろしさを改めて実感しました。とても衝撃的な映像でしたが、防災の大切さなどを学べて貴重な体験になりました。

2日目のユニバーサル・スタジオ・ジャパンでは、買いたいと言った班の子たちとおそろいのカチューシャを付けてまわることができて嬉しかったです。アトラクションは、ジョーズ、ジュラシックパーク、マリオカートに乗れて楽しかったです。また、初めてニンテンドーエリアにも入り、ゲームの世界がそのまま再現されており、技術力の高さにとっても驚きました。他にも、みんなで同じチュロスを買って写真を撮ったり、お土産をたくさん買ったりすることができて、とても楽しかったです。2日目のホテルは4人部屋だったので、普段はあまり話さないことを話したりして、もっと仲良くなれたと思います。

3日目の京都嵐山では、トロッコからの景色がとても綺麗で印象に残りました。散策の時間はあまりなくて、急ぎ足でしたが、渡月橋でみんなで写真を撮ったり、橋を渡ったりすることができたのは良かったです。その後の和菓子作り体験では、初めて和菓子を作ったので、変な形になってしまったけど、貴重な体験で楽しかったです。

今回の修学旅行は、友達との仲をより深めることができ、貴重な体験をした、思い出に残る3日間になりました。

